

平成 28 年度 市民参加手続の実施状況

■ 市民参加手続の実施状況（概要）

平成 28 年度は、市民参加対象事業 22 事業に対し 35 件の市民参加手続を実施し、2,985 人の市民が参加した。

市民参加対象事業 22 件のうち、最も実施が多いのは「パブリックコメント」（実施率 86.3%）となっており、次いで「審議会等」（実施率 40.9%）となっている。

「その他」は市民会議、交通安全計画策定懇話会となっている。

[表 1：市民参加手続の実施件数]

	審議会等	市民説明会等	パブリックコメント	アンケート調査	その他	合計
実施件数	9 件	2 件	19 件	2 件	3 件	35 件
実施率※1	40.9%	9.1%	86.3%	9.1%	13.6%	

※1：22 件（市民参加対象事業）を母数とする。

[表 2：市民参加手続の参加者数]

	審議会等※1	市民説明会等	パブリックコメント	アンケート調査	その他	合計
参加者数	14 人	272 人	15 人	2,636 人	48 人	2,985 人
割合	0.5%	9.1%	0.5%	88.3%	1.6%	100.0%

※1：公募市民の人数

また、北広島市市民参加条例第 6 条第 2 項では、「市の機関は、より多くの市民の意見を反映させるため、積極的に複数の市民参加手続を実施するよう努めるものとします。」と定められており、市民参加対象事業 22 件中、10 件（45.5%）の事業で複数の市民参加手続を実施している。

[表 3：1 事業あたりに採用した市民参加手続の種類]

	1 種類	2 種類	3 種類	合計
該当事業数	12 件	7 件	3 件	22 件
割合	54.6%	31.8%	13.6%	100.0%

■ 審議会等

審議会等を開催した 9 件の会議の開催回数については、表 4 のとおりである。最も開催回数が多いのは「総合計画推進会議」及び「食育推進懇談会」の 4 回となっている。

また、公募市民については全体で 14 人となっており、公募市民が 4 名以上の審議会等は「地域公共交通活性化協議会」となっている。

[表 4 : 1 事業あたりの審議会等開催回数]

	1 回	2 回	3 回	4 回	合計
該当事業数	3 件	4 件	0 件	2 件	9 件
割合	33.3%	44.5%	0.0%	22.2%	100.0%

[表 5 : 公募市民の有無]

	0 人	1 人	2 人	3 人	4 人以上	合計
該当事業数	2 件	3 件	2 件	1 件	1 件	9 件
割合	22.2%	33.4%	22.2%	11.1%	11.1%	100.0%

[表 6 : 委員の出席率]

	70%以上 80%未満	80%以上 90%未満	90%以上 100%未満	100%	合計
該当事業数	2 件	3 件	2 件	2 件	9 件
割合	22.2%	33.4%	22.2%	22.2%	100.0%

■ 市民説明会等

市民説明会等を開催した 2 件については、表 7 のとおりである。最も開催回数が多いのは、事業者説明会と各地区で説明会を実施した「介護予防・日常生活支援総合事業について」の 6 回で、次いで「公共施設等総合管理計画の作成」の 5 回であった。

また、参加者については全体で 272 人となっており、最も参加者が多いのは「介護予防・日常生活支援総合事業について」に関する説明会であり 223 人となっている。

[表 7 : 市民説明会等開催回数]

	5 回	6 回	合計
該当事業数	1 件	1 件	2 件
割合	50.0%	50.0%	100.0%

[表 8 : 市民説明会等参加者数]

	0 人以上 50 人未満	50 人以上 100 人未満	100 人以上	合計
該当事業数	1 件	0 件	1 件	2 件
割合	50.0%	0%	50.0%	100.0%

■ パブリックコメント

86.3%の事業でパブリックコメントを実施し、15人から38件の意見提出があった。

最も意見提出数が多いのは「小中一貫教育推進基本方針(案)概要版について」の33件となっている。

[表 9 : 1 事業あたりの意見提出数]

	0 件	1 件以上 5 件未満	5 件以上 10 件未満	10 件以上	合計
該当事業数	15 件	3 件	0 件	1 件	19 件
割合	78.9%	15.8%	0%	5.3%	100.0%

■ アンケート調査

アンケート調査を実施したのは2件であった。

「食育推進計画(第2次)の作成」では、市民1,000名と636名と対象をわけて2回行い、それぞれ回収率が46.7%と97%であった。

「東の里遊水地利活用基本計画」では、市民1,000名に対して回収率が32.2%であった。

■ その他市の機関が適切と認める方法

「きたひろしま市民会議」では、18歳以上の市民を年代ごとに無作為抽出により選出し、当日は27名の参加があった。

「市民交流広場市民会議」では、公募市民を含む6名の委員により2回の会議が行われた。

「第10次北広島市交通安全計画の作成」では、道路管理者、警察、JR北海道や自治連合会、小中学校校長会、老人クラブ連合会、各地域交通安全協会などの団体の代表者が15名集まり会議を行った。